

# よさみつうしん

No.6  
2016.12.5  
青山よさみ幼稚園

## ぺったん、ぺったん おもちつき!

### さつまいもご飯を炊きました!

先日、幼稚園でさつまいもご飯を炊きました。各クラスで子ども達がお米を洗ってくれました。「お母さんも毎日洗ってるわ!」と水の冷たさも気にせず、お米を洗っていました。自分たちも、お母さんの日頃のお仕事を体験することで、ちょっぴり背伸びして、お母さんに近づいた気分だったようです。

家では見たことのない、大きな炊飯器にお米とさつまいもを入れ、わくわくの子ども達でした。「おいしくなあれ!」の大合唱で、さつまいもご飯の炊きあがりを待ちました。ご飯が炊きあがり、炊飯器の蓋を開けた時の子ども達の驚きの表情は、生き生きとしていました。普段、何気に食べているご飯やおかずがどのように調理されていくかを、しっかりと見たり、料理を体験することは、子どもの食への関心を深めるきっかけとなりました。

『自分たちで炊いたさつまいもご飯』を、自分の手でおにぎりにして食べました。



12月1日、お餅つきが行われました。朝から、蒸籠の周りには、年長児が集まり、昨年のお餅つきの経験を思い出しながら、「先生! せいろにもう餅米入れてる?」「これって杵やんなあ」「煙の匂い臭い!」と、薪をくべてくださる園長先生の側で、色々会話を楽しむ姿がありました。

最近では、地域の行事でもお餅つき等の自粛の話題もありますが、子ども達に引き継ぎ経験させてあげたい昔ながらの行事は残していきたいものです。真っ白の餅米を蒸し、つくると、米の粒がなくなりなめらかなお餅に変身する過程は、子ども達には驚きでした。ついたお餅は、きな粉と砂糖醤油をつけていただきました。「先生! お餅白かったのに・・・」と、きな粉と砂糖醤油で変身しているお餅にも驚いていました。あの白さと感触は、子ども達には魅力的なのではないでしょうか。

お手伝いのクラス役員様、有志の皆様、ありがとうございました。

